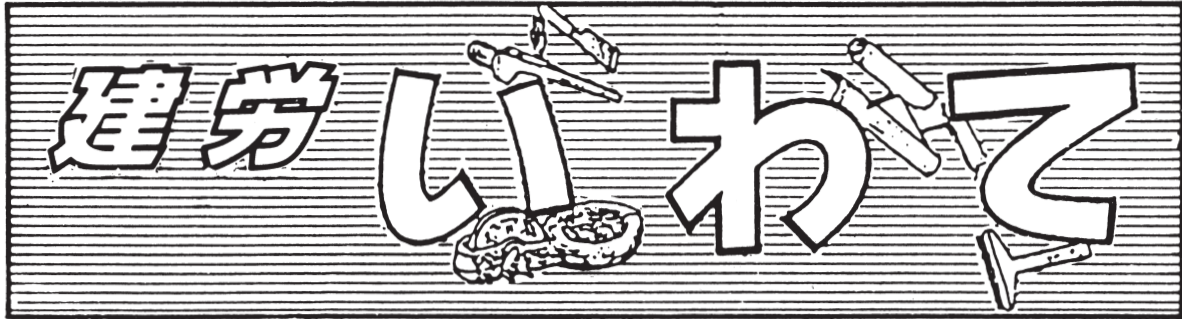


お知らせ

来月は「建労いわて月刊号」を発行します。
 次回「建労いわて増刊号」は8月に発行します。



発行所
 岩手県建設労働組合連合会
 教 宣 部
 盛岡市本宮一丁目7番27号
 電 話 019-631-3280
 F A X 019-635-4015
 発行者編集長 藤井泰男

第53回 岩手県連定期大会 県連副会長退任・新任のご挨拶



県南ブロック
 菊池 誠さん(退任)

平成23年より県南ブロックの代表として推薦され、岩手県建設労働組合連合会の副会長の大役を任せられました。微力の私でしたが、多くの皆様にご指導・ご協力を頂き、4年間務めることが出来ました。心より感謝申し上げます。皆様から頂きましたご厚情は、生涯忘れる事の出来ない「思い出」となるでしょう。心から厚く御礼を致します。今後は一組合員として、出来ることは協力していきたいと思っておりますので、なお一層のご指導・ご鞭撻の程よろしくお祈りいたします。岩手県連の益々のご発展と、組合員皆様のご健勝・ご多幸をお祈りし、副会長退任のご挨拶といたします。



中央ブロック
 菅原 公夫さん(退任)

私の岩手県連執行委員としては、平成5年2月の第1回執行委員会からでした。過去を振り返ってみれば、全建総連本部の元教宣部長千葉景四郎さんに「記事の書き方、取材の仕方」を学んだこと、全建総連第41回大会が岩手で開催された際に、全国の仲間のコメントを取材し「みんなの声」として、号外速報を最終日に発刊したことが、浮かんできます。また、東日本大震災で全国の仲間への支援に、岩手県連創立50周年事業で、微力ながら3年間まとめた記念誌の作成などが思い出されます。役員として、歴代役員の方々のご指導、さらには各組合の歴史を学ぶ機会、事務局員から私を強く支えて頂いたこと、退任までの22年間を過ごす事が出来ました。このことは絶対に忘れません。感謝申し上げます。私の今までの人生の中で、県連の仲間が「一番の宝」とさせて頂きました。最後に、今後の岩手県連新たな役員でのスタート。役員一人一人の歯車が一つでも空回りしないよう、全員の歯車がしっかりと噛み合せて一致団結し、今までの以上のさらなる岩手県連を築き上げることをお願いし、退任のあいさつといたします。



県北ブロック
 工藤 喜代美さん(退任)

県連副会長として3期6年間、大過なく県連組合員の皆様のご理解とご協力を頂いたことに、感謝を申し上げます。振り返ってみれば、1番先に思い出す事は、大役を受け継ぐことで各組合を含めて、弱小組合をいかに県連組織の充実につなげることが出来るのかと、頭が一杯になったことでした。1番に組合員の安全、安定した仕事確保、仲間の絆を深めることを考えてきました。数年続いた組合員の年間百名以上の減少に、仲間の掘り起しが足りないと感じ、自家用ワゴン車にキャリー看板を載せて、常日頃、走り回りました。そのかいがあり、組合員が確実に増え、過年度より組合員数を減らすことなく、任期を頑張れたことと自負できます。また、組合員の融和に気を配りながら努めてきました。今後は一組合員としての年齢となりましたので、健康にご気をつけて頑張ればと思っております。県連の益々の発展を切望いたします。



県南ブロック
 高橋 元一さん(新任)

この度、第53回岩手県連定期大会において、県連副会長に就任しました。一関建設組合の高橋元一です。平成20年度から県連執行委員となり、賃金税金対策部、組織・教宣部で7年間活動して来ました。これからは県連副会長として、組合員の皆様の暮らしと生活を守り「中建国保」の健全な運営を計って行きたいと思っております。また、高齢者も若者達にも充実した共済制度で、死亡給付の見直しや設置などを頑張りたいと思っております。組合員の皆様のご支援、よろしくお祈りいたします。



中央ブロック
 高館 博人さん(新任)

この度、第53回岩手県連定期大会において、中央ブロック長・県連副会長に就任しました。北上建設組合の高館博人です。県連役員となった平成21年度からこれまで6年間は、社保労働対策の部長を2年、部長を4年間務め、組合員の皆様の為になるようにと努力して参りました。これから県連三役となると、さらに心引き締まるものがあります。6年間に学んできたことを活かし、特に社会保障・労働対策に力を入れていきたいと思っております。組合員皆様のご協力を頂きながら、頑張りますのでよろしくお祈り申し上げます。



県北ブロック
 大峠 勝志さん(新任)

この度、第53回岩手県連定期大会において、県連副会長を引き受けることになりました。盛岡建設労働組合の大峠勝志です。前任の工藤喜代美さんには、長い間大変お疲れ様でした。私は、青年部の時から組合活動に関わってきました。当時と今では、仕事の形態もだいぶ変わってきたと思います。健康保険一つとっても内容は大きく後退して来ています。賃金についても、交渉相手は変わっていきと思っています。いずれにしても、私達の生活が安心出来る様、微力ではありますが頑張ります。皆様のお力添えをお願いしまして、ご挨拶といたします。

きずな

コラムの記事を担当しているが、読む側に共感を得ているか疑問に思える時があり、反省しています。どうしても政治を取り巻く状況文になってしまいました。今年は「羊」年。性格がおとなしく、群れを作って行動する動物で、私達の組合組織と同じと、私は感じています。

昨年の総選挙で、30%の票・3分の2の議員を獲得した自公政権の27年度の一般会計予算は増額しました。また「社会保障と税の一体化」として消費税8%に増税しましたが、年金・介護・医療とも悪くなっているのが現状です。

安倍首相は「強い日本を作る」と言っており、大企業の法人税の引き下げ、防衛費の増額が決定しています。日本生命が実施した「賃金が増えるか」とのアンケートに、60%の方が変わらなるとの回答が20%もあったそうです。

2月の定例県議会にて「公契約条例」が発表されます。専門工事業の方々を連携して、賃金の値上げに取り組んでいきたいです。今年3月15日、矢巾町の「田園ホール」にて決起集会を開催しますので、多数のご参加をよろしくお祈りいたします。

【県連会長 齋藤 徳重】